

学校教育目標を行動指標にまでチャンクダウン

学校教育目標

自ら考え、豊かな心とたくましい実践力を身につけた生徒を育成する

自ら考える

自分の目標をもち、計画を立て、何をするか自分で決めて、継続した努力（ルーティーン）をする。

- ・生徒へ関心をもち、ほめる、認める、考えさせる。
- ・取り組みやすい環境をつくる。
- ・「できた！」「わかった！」などの成功体験を積み重ねさせる。（認める）

目指す
生徒像

教師の
具体的
手立て

豊かな心

自分の身のまわりの人や物などに関心を持つ→行動に移す（あいさつ等）
互いを認め、褒める、高め合う態度を持つ。

- ・今日のよいことを発表する。
- ・生徒同士をつなげる活動を行い、多様な考えにふれることができるようにする。
- ・自他とのコミュニケーションの時間を確保する（夢ノートなど）
- ・相手の意見に共感の姿勢を見せる（共感力）

たくましい実践力

自分で考え、行動できる。
主体的な挑戦経験を次の課題解決に生かすことができる。

- ・PBIS や SEL の視点を生かした学習環境を設ける。
- ・課題解決型学習に重きをおいた授業をする。
- ・自ら考え、それを表現する時間を確保する。

令和7年度
指導の重点

「考えさせる」「ほめる」「認める」

令和7年度 研究主題：

あたたかい空間の中で、自ら学ぶ生徒を育成する。

～生徒を主役にする仕掛けづくり～

自ら考える

豊かな心

たくましい実践力

学力向上部会
(各教科)

人権教育部会
(道徳・生徒指導)

特別活動部会
(学活・総合・生徒会)

目指す
生徒像

自ら考え、表現できる
生徒。

一人ひとりの良さを認め、
個性を尊重し合う生徒。

自分で考え、行動できる生徒。
主体的な挑戦経験を次の課題解
決に生かすことができる生徒。

生徒の
具体的な
取り組み

学習内容を定着させるため
に、自己の課題と向き合
い、学習に取り組む。

よいところを見つける。相手
の意見を受け止め、共感の姿
勢を見せる。

主体的な挑戦経験や多様な他者
との関わりの中から、自分の強
みや課題を見出す。

教師の
具体的
手立て

○単元目標の共有
○めあて・課題の工夫
○協働的な学びの場の設定
○まとめと振り返りからの
フィードバック

生徒同士をつなげる活動をお
こなう。
よいところを見つけ、紹介し
たり、ほめたりする。
取り組みの検証と振り返り。

PBIS や SEL の視点を生かした
学習環境を設ける。課題解決
型学習に重きをおいた授業を
する。自ら考え、それを表現
する時間を確保する。